

令和8年度版 岩手県生コンクリート品質管理監査会議 独自の調査項目

C 実地調査（追加調査）

項 目	監 査 基 準	調 査		判 定	監査時のメモ																															
		チェックポイント	結 果																																	
2. 製品の検査	当日の圧縮強度試験結果（材齢28日） ※ 材齢28日の供試体が無い場合は、材齢7日の圧縮強度試験を行い、7日と28日の関係式から材齢28日の圧縮強度を推定する。 ● 配合： ● 関係式： ● 供試体サイズ ● $\phi 100\text{mm} \times 200\text{mm}$ ☐ ● $\phi 125\text{mm} \times 250\text{mm}$ ☐ ● 載荷時間：載荷直後から終了までの1/10秒を四捨五入して整数に丸める。 ● 載荷速度：小数点以下1桁に丸める。	● 圧縮強度試験の結果（ $\pi : 3.1416$ を用いて計算） <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>質量 (kg)</th> <th>最大荷重 (kN)</th> <th>圧縮強度 (N/mm²)</th> <th>載荷時間 (秒)</th> <th>載荷速度 (N/mm²/秒)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>平均</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			No.	質量 (kg)	最大荷重 (kN)	圧縮強度 (N/mm ²)	載荷時間 (秒)	載荷速度 (N/mm ² /秒)	1						2						3						平均							
	No.	質量 (kg)	最大荷重 (kN)	圧縮強度 (N/mm ²)	載荷時間 (秒)	載荷速度 (N/mm ² /秒)																														
	1																																			
2																																				
3																																				
平均																																				
	(1) 圧縮強度試験の試験方法 D1001 (JISA 5308 10.2.1 圧縮強度, JISA 1108) a : JIS に適合している c : JIS に適合していない a ☐ c ☐																																			
	(2) 載荷速度の適合性の確認 D1002 JIS の載荷速度 : $0.6 \pm 0.4 \text{N/mm}^2/\text{s}$ a : 3本とも JIS に適合している b : 1本ないし2本が JIS に適合していない c : 3本とも JIS に適合していない a ☐ b ☐ c ☐																																			
	(3) 圧縮強度の適合性の確認 D1003 a : S_L 以上 b : $0.85S_L$ 以上 ~ S_L 未満 c : $0.85 S_L$ 未満 a ☐ b ☐ c ☐																																			
	圧縮強度試験用供試体の作製 ● キャッピング ● ペーストキャッピング ☐ ● アンボンドキャッピング ☐ ● 研磨 ☐	(1) 圧縮強度試験用供試体の作製方法 (JISA 1132) D1004 a : JIS に適合している c : JIS に適合していない a ☐ c ☐																																		
スランプ 又はスランプ フロー、及び空気量		(1) スランプ 又はスランプ フローの試験方法 (JISA 1101, JISA 1150) D1005 a : JIS に適合している c : JIS に適合していない a ☐ c ☐																																		
		(2) タッピング後のコンクリートの評価 D1006 a : プラスティックでリーガブル b : セメントペースト不足、砂量が不足 c : 砂量がやや不足し、粗骨材が分離傾向 d : その他 () a ☐ b ☐ c ☐ d ☐																																		
		(3) 空気量の試験方法 D1007 (JISA 1128, JISA 1118, JISA 1116) a : JIS に適合している c : JIS に適合していない a ☐ c ☐																																		

項 目	監 査 基 準	調 査		判 定	監査時の炔
		チェックポイント	結 果		
2. 製品の検査	塩化物含有量	(1) 塩化物含有量の試験方法 D1008 (JISA 5308 10.6 塩化物含有量)	a : JIS に適合している c : JIS に適合していない	a ☐ c ☐	その他の機種名：
		(2) 塩化物含有量測定器の機種名 D1009	a : ソルメイトー100 b : ソルターC-6 c : カンタブ d : その他	a ☐ b ☐ c ☐ d ☐	
3. 容積の検査	容積	(1) 単位容積質量の試験方法 D1010 (JISA 5308 10.7 容積, JISA 1116)	a : JIS に適合している c : JIS に適合していない	a ☐ c ☐	

【令和8年度 岩手県生コンクリート品質管理監査会議 特別調査】

- 本調査は、岩手県生コンクリート品質管理監査会議が独自に行うもので、全国統一品質管理監査の結果（減点数）に影響するものではありません。
- 監査受検工場の廃棄物の堆積ヤード、中和後の排水処理、リスクアセスメント、および廃棄物の処理状況を調査し、今後の品質管理および環境保全の向上を目指すものです。

1. 廃棄物の堆積ヤード

項 目	種類① コンクリートくず対象	種類② 汚泥対象
(1) ヤードの堆積容量	D2001 (m ³)	D2005 (m ³)
(2) 現在の概数・堆積量	D2002 (m ³)	D2006 (m ³)
(3) 保管状態（浸出水の経路など）	D2003 a：全て満足□ b：一部問題あり□ c：改善を要す□	D2007 a：全て満足□ b：一部問題あり□ c：改善を要す□
(4) 表示を設置しているか	D2004 a：全て満足□ b：一部問題あり□ c：改善を要す□	D2008 a：全て満足□ b：一部問題あり□ c：改善を要す□

※ 上記(1), (2), (3)の項目は、工場側の申告による。

《産業廃棄物の保管場所の掲示板の要件》

◇縦及び横それぞれ60センチメートル以上であること。

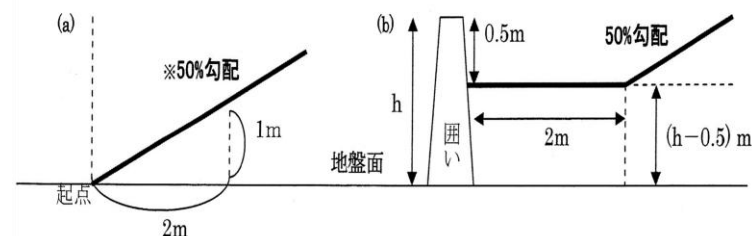
◇表示事項

- ①産業廃棄物の保管場所である旨
- ②保管する産業廃棄物の種類（当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物が含まれる場合は、その旨を含む。）
- ③保管の場所の管理者の氏名又は名称及び連絡先
- ④屋外において産業廃棄物を容器を用いずに保管する場合にあっては、下記の「最大保管高さ」に規定する高さのうち最高のもの

※右図は表示例です。

①産業廃棄物保管場所	
②廃棄物の種類	金属くず 廃プラスチック類
③管理者の氏名又は名称及び連絡先	△△工業(株) 担当：横浜太郎 横浜市○○区××1-2 TEL.045-123-4567 (内線 1234)
④最大保管高さ	1.5m

《最大保管高さ》



(a) 囲いに接することなく保管する場合

(b) 囲いに接して保管しようとする場合

※ 50%勾配とは、起点から水平距離2mに対して垂直に1m上昇した点を結ぶ面。角度にして約26.5°です。

2. 中和後の排水の経路（中和設備がある場合に記入してください）

(1) 中和後に別系統からの混入はないか D2009 評価：（ a：すべて満足 □ b：一部問題点あり □ c：改善を要す □ ）

(2) 中和設備周辺は清掃されているか D2010 評価：（ a：すべて満足 □ b：一部問題点あり □ c：改善を要す □ ）

3. リスクアセスメントの実施状況（ポルトランドセメントおよび高炉セメント B 種を対象）

項 目	結 果	判 定	調査時のメモ
(1) 危険性・有害性の特定 D2011 工場で取扱う化学物質等の危険性または有害性について、安全データシート(SDS)を入手し危険性・有害性を特定している。	a：取扱っている化学物質の SDS を入手し、危険性・有害性を特定している b：一部特定していないものがある c：特定していない	a ☐ b ☐ c ☐	
(2) リスクの見積り D2012 特定した化学物質について、作業種類ごとにリスクを見積もっている。	a：リスクを見積もっている b：一部でリスクを見積もっていない c：リスクを見積もっていない	a ☐ b ☐ c ☐	【リスクの見積り方法を記入】 コントロールバンディング ☐ マトリックス法 ☐ その他（ ） ☐
(3) リスク低減措置の内容の検討 D2013 作業種類ごとに見積もったリスクについて、リスクを低減させる方法を検討している。	a：全ての作業でリスクを低減させる方法を検討している b：リスクを低減させる方法を検討していないものがある c：全ての作業でリスクを検討していない	a ☐ b ☐ c ☐	
(4) リスクアセスメント結果の労働者への周知 D2014 リスクアセスメントを行った結果について、取扱う化学物質の危険性または有害性を労働者に周知している。	a：労働者に周知している b：労働者への周知が不十分である c：労働者に周知していない	a ☐ b ☐ c ☐	【リスクアセスメント結果の周知方法を記入】

4. 廃棄物の処理状況

(1) 残コン・戻りコンの有無 D2015 a: 有る ☐ c: 無い ☐

● 有る場合・その処理方法: D2016 a: コンクリートくずとして処理 ☐ b: 再生路盤材として再利用 ☐ c: その他の再利用 ☐

● 無い場合・その理由: D2017

(2) 令和7年度のコンクリートくず・汚泥の排出量 (合計) D2018

● a: 0 トン (t) 以上 250 トン (t) 未満 ☐ ● b: 250 トン (t) 以上 500 トン (t) 未満 ☐

● c: 500 トン (t) 以上 1,000 トン (t) 未満 ☐ ● d: 1,000 トン (t) 以上 ☐

※ 廃棄物の重量 (t) = 廃棄物の容積 (m³) × 産業廃棄物種類別重量換算係数

※ 産業廃棄物種類別重量換算係数

● コンクリートくず: 1.0 ● 汚泥: 1.1

(3) 令和7年度の廃棄物の排出量の出荷量に対する割合 D2019

● 廃棄物の排出量 (m³): _____ ● 出荷量 (m³): _____

● 廃棄物の排出量 (m³) / 出荷量 (m³): _____ (%)

5. 有資格者数の調査

● 化学物質管理者の人数 D2020 : _____ 名

● 保護具着用管理責任者の人数 D2021 : _____ 名

【 特記・気付き事項 】

1. 実施年月日 2026 年 月 日

2. 会社名・工場名 _____

監査員(正) _____

監査員(副) _____